



2013年5月7日



晴れ渡った青空に鯉のぼりが鮮やかにひるがえっています。
そう、5月5日は「こどもの日」。

明石市立文化博物館に可愛い「1日子ども館長」が登場してくれました。

小学校4年生の井上瑞基さんと、松井なごみちゃんです。
「1日子ども館長」に選ばれた二人の任命式の様子です。



来館された先着50名の方に風船で作ったウサギや犬などのバルーンアートをプレゼントするのが今日のお仕事です。

プレゼントを受け取った方は可愛い子ども館長に思わずにっこりされていました。

井上君も松井さんも、お仕事をしてみてもプレゼントを配られた人が笑顔になるのが嬉しいと話してくれました。

この日、春季特別展「画家 安野光雅の世界展」の観覧者が1万人を数えました。

1万人目の観覧者に1日子ども館長から、絵本『風景と出会い』と「ポルトの町並み」が額に収められたものをプレゼントしてもらいました。



1万人目となられたのは明石市朝霧からお越しの岩崎順子さんのご家族。絵がお好きという長女の茜さんは偶然にも、今朝、安野光雅の「平家物語」の絵を教科書で見っていたそうです。

実物を目にしてとてもびっくりされていました。プレゼントは茜さんが描くデッサンの絵が飾っていない壁かピアノの上に置くのがいいかな～と話されていました。妹の渚さんは焼き芋の絵やあんぱんの絵を見て立ち止まり、食べたくなったそうです。

とても可愛いエピソードですね。

※当館は深緑色の鎧のみ所有しており、今回は特別に明石葵会から赤色の鎧をお借りしました。

では、次回の文化博物館だよりをお楽しみに。